

広報 のみ

Nomi City News Letter

9月号

2021 No.200

広報能美



8月8日に吉原釜屋町の能美根上スマートインターチェンジそばに設置した観光案内看板

主な内容

- 新型コロナワクチンの接種について
- 200号記念特集 広報表紙と振り返る市の歩み
- オリンピックに携わる様々な方が市役所に来庁しました

新型コロナウイルスワクチンQ&A

その他よくある問い合わせはこちら(右記QRコード)
厚生労働省 新型コロナウイルスワクチンQ&A



Q. 能美市ではいつまでワクチン接種ができますか？

A. 能美市では、ワクチンの供給等の理由から、10月末で接種をいったん終了します。以降については、詳しいことが決まりましたら市ホームページ等でお知らせします。

9月6日(月)9時～の予約受付が最後となります。

16歳以上のまだ予約ができていない市民は、お早めにご予約をお願いいたします。
予約方法等はクーポン券(接種券)に同封のお知らせをご覧ください。



Q. 新型コロナウイルスワクチンは何のために受けるのですか？

A. 新型コロナウイルスワクチンを接種することで、新型コロナウイルス感染症にかかりにくくなります。ワクチン接種後に体内で免疫反応が起き、抗体が作られる仕組みです。

Q. ワクチン接種の後はどんなことに気を付ければよいですか？

A. 他のワクチンに比べ、接種後の発熱や痛み、だるさなど症状が出やすいですが、数日で良くなることがわかっています。なるべく接種当日・翌日に無理をしないで済むよう予定を立てておくといでしょう。

Q. ワクチンは、必ず接種しなければいけないのですか？

A. 新型コロナウイルスワクチンの接種は強制ではなく、本人の意思に基づき受けていただくものです。職場など周りから接種を求められても、本人が接種を望まない場合には接種しないことを選択することができます。接種をしていない人を差別することがないようお願いいたします。

Q. 変異株ウイルスにもワクチンは効果がありますか？

A. ウイルスは絶えず変化するものですが、小さな変化でワクチンの効果がなくなるわけではありません。現在、変異株に対応したワクチンの開発や臨床試験も実施されています。

Q. 能美市民の現在の接種状況は？

A. 以下の通りです(令和3年8月19日時点)。最新の情報については市ホームページで公開しています。

対象者	接種開始日	1回目接種者数	2回目接種者数	接種率(1回目)	接種率(2回目)
65歳以上	5月24日～	12,295	12,051	91.6%	89.8%
50～64歳	7月10日～	6,004	5,296	64.8%	57.2%
全体(16歳以上)		22,756	19,249	53.1%	44.9%

新型コロナウイルスワクチン接種に関する最新情報は、市ホームページで公開しています

市ホームページQRコード



問い合わせ

能美市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

☎0570-050670

【平日9時～17時】(通話料がかかります)



市民の 中学生 と保護者の皆さまへ 9月6日(月) 9時～ 予約受付開始

対象となる方へ8月19日(木)頃にクーポン券(接種券)をお送りしています。ワクチン接種を希望される方はご予約ください。

なお、12歳～15歳の方が新型コロナウイルスワクチンを接種するには、**保護者の同意が必要です**。※予約票に保護者の署名がない場合、接種が受けられません。また、

可能な限り保護者同伴での接種にご協力ください。
詳しくはクーポン券(接種券)に同封のお知らせをご覧ください。

- ▶接種期間(1回目) 9月22日(水)～10月9日(土)
- ▶接種場所 市内指定医療機関
- ▶予約方法 WEB予約、電話予約

今年度8月末までに 12歳になる方(小学6年生)と保護者の皆さまへ

8月末頃までにクーポン券(接種券)をお届けします。ワクチン接種を希望される方は、9月6日(月)9時以降にWEBまたは電話でご予約ください。なお、接種できる医療機関については市ホームページをご確認ください。
9月以降に12歳になる方にはワクチンの供給を見ながら別途ご案内いたします。

ワクチンを接種したら、もう安心？

ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する可能性はあります

・ワクチンを接種しても、免疫がつくまでに1～2週間かかり、免疫がついても発症予防効果は100%ではありません。

・自分自身や周囲の人を守るために、接種後も感染対策を継続することが重要です。

◆感染対策方法◆

- ・3つの密(密集・密接・密閉)の回避
- ・マスクの着用
- ・石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意！

他の人と
十分な距離を取る！
(2メートル以上)

窓やドアを開け
こまめに換気を！

屋外でも密集するような
運動は避けましょう！
少人数の散歩や
ジョギングなどは大丈夫

飲食店でも距離を取りましょう！

- ・多人数での会食は避ける
- ・隣と一つ飛ばしに座る
- ・互い違いに座る

会話をするときは
マスクをつけましょう！
5分以上の会話は
1回の咳と同じ

電車やエレベーターでは
会話を慎みましょう！

感染者等への差別・誹謗中傷は絶対におやめください

新型コロナウイルス感染症は、誰もがかかる可能性がある疾患です。感染された人やその家族、医療従事者などに対する、不当ないじめや差別は決してあってはなりません。感染症に対する不安をおおるような言動や不確かな情報の拡散は憤り、冷静で良識のある対応をお願いします。

電話相談 みんなの人権110番 ☎0570-003-110 【受付時間】平日8時30分～17時15分

広報表紙と振り返る市の歩み

平成 25 年 5 月に 100 号を迎えてから、今月号で 200 号という大きな節目を迎えた『広報のみ』。それを記念し、101 号から 199 号までの表紙を通して、能美市の歩みを振り返ります。



平成 27 年



福島保育園の園児が能美市合併 10 周年記念年賀はがきを使って、年賀状を描きました。能美九谷の技と美を伝える記念切手シートも販売されました。

九谷焼誕生から 360 年。技術の継承を後世へ伝えるというプロジェクトによって、明治時代に世界を魅了した九谷焼「ジャパンタニ」がよみがえりました。

秋の「能美の SACHI まつり」として、市内各地で開催されたさまざまな催し。地元の人と、来場者が交流を楽しみました。

家庭、職場・学校以外で普段の暮らしを幸せに豊かにする「第3の生活拠点」を紹介しました。

根上学童野球クラブが、「小学生の甲子園」全日本学童軟式野球大会で快進撃を見せ、初出場で全国大会準優勝の栄冠に輝きました。



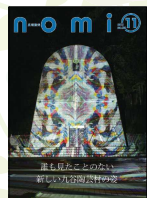
「第2回灯台台笛・岩本竹の子まつり」が灯台台町公民館前で開催され、子どもたちが、竹で手作りされた水でっぽうなど、昔ながらの遊び道具を楽しみました。

九谷陶芸村を舞台に、木工、ガラス、布織、漆、金工、皮革など全国からあらゆる手づくりの職人たちによるテント市が開催されました。

全日本競歩能美大会男子 20 キロで、鈴木雄介さん（松が岡出身）が 1 時間 16 分 36 秒という圧巻のスピードで、世界記録を 26 秒も更新しました。

合併 10 周年記念式典を盛大に開催し、市の取り組みを振り返るとともに、これからの能美市の新時代へ、大きな一歩を踏み出しました。

平成 27 年 2 月 1 日、市は合併 10 周年を迎えました。市と同じ年に生まれた子どもたちが「夢」を書いた色紙を掲げました。



「のみの美アートフェスタ」が九谷陶芸村で開催され、世界最大の九谷焼であるビッグモニュメントが「デジタル掛軸」により彩られました。

住民票があるすべての方に、個人番号（マイナンバー）が通知されました。個人番号カード（マイナンバーカード）の申請も開始されました。

大正 9 年以来 5 年ごとに行われる、20 回目の国勢調査が実施されました。外国人も対象となることから、JAIST の留学生の方々にもモデルとして出演していただきました。

「のみ電」廃線から 35 年。「のみでん広場」に、北陸鉄道旧能美線が使われていた貨車「ホム 1 号」を設置しました。

能美市商工会青年部が企画した「のみみごっこ」が物見山運動公園で開催され、子どもたちは鬼役「ハンター」に捕まらないよう、全力で逃げ回りました。



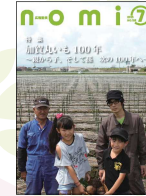
和田山 23 号墳で、約 1500 年前の古墳時代につくられた日本最古の文字須恵器が確認されました。高杯には「二年」壺には「未」と書かれています。



九谷陶芸村で、いしかわ動物園と連携し「九谷ナイトズー」を開催しました。九谷焼の動物たちと光のオブジェが陶芸村を彩りました。



能美市の空き家に移住した九谷焼技術研修所の研修生に、市外出身者から見た能美市の魅力などをお聞きしました。



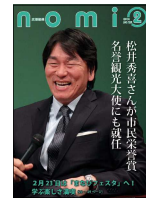
能美市の地で地道に育てられ、多くの先人たちの苦労や情熱が詰まった加賀丸いも。栽培が始まって 100 年を迎えました。



東京大学教授の浅井祥仁さん（粟生町出身）を招き、文化講演を開催しました。宇宙誕生とビッグス粒子について講演しました。



国内外で影響力のある市出身者 3 人の力を結集し、観光ポスターを刷新しました。ポスターは三大都市圏、県内の駅や空港で掲示されました。



松井秀喜さんが現役引退後、初めて帰郷され、市民栄誉賞第 1 号を受賞するとともに、能美市の名誉観光大使に就任しました。



いしかわ動物園でいし空間「カビバラ湯」がオープンし、「ひやくまんさん」や「のみまるくん」も駆け付け、来場者を楽しませました。



平成 27 年 3 月の北陸新幹線の金沢開業に向けて、能美市を盛り上げる「能美印」のオスメ土産品 22 品が決定しました。



移りゆく四季の情感と恵みがひしひしと感じられる里山。能美市の豊かな里山資源で、多彩な魅力を持つ催しが開催され、秋を満喫しました。



能美の里山で育まれた農業不使用・有機栽培の「国造ゆず」。6 次産業化やブランド化を進めて、国造ゆずを協働で盛り上げようという動きが出てきました。



根上・寺井・辰口の 3 地区の会場を初めて統一し、「第 1 回自衛消防団合同訓練大会」が物見山運動公園駐車場で開催されました。



能美市の観光情報や地元情報などをアプリを通じて見ることができ、能美市観光アプリ「能美style」をリリースしました。



九谷陶芸村で「手づくりの達人市」が初めて開催され、全国各地から工芸作家が集結。九谷五彩の傘が空を彩り、オシャレな陶芸村を演出しました。

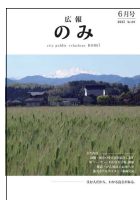


保育園の建築、改築を順次行い、子育て環境の整備が進む能美市。平成 26 年 3 月に竣工した宮竹保育園では、元気に遊ぶ園児たちの姿がありました。

モリアオガエルの卵塊が見られるようになる6月の蟹淵。木々の緑と水面の青緑の色調が美しく輝いていました。



白山を背景に初夏の風になびく麦（山田町地内）。住む人だからわかる良さを伝える「わがまち自慢」コーナーを新しく開始しました。



市内で桜が満開となった4月中旬。園児たちは、お花見をしながら散歩して春を満喫しました。表紙を含む紙面を読みやすくなるようリニューアルしました。



加賀丸いもの新たな販路開拓や、魅力発信に向けた取り組みが始まりました。産地統一ロゴや出荷箱、「プレミアム」の加賀丸いものが誕生しました。



仏大寺町で開催された「第11回美ほっこりまつり」。子どもたちが昔ながらの技法を使った「こも編み」のコースター作りを楽しんでいました。



9月中旬、市内各地で稲刈りをしている様子が見られました。「農」で輝く女性たちを特集しました。



第56回根上り七夕まつりが開催され、2日間合計で約1万2千人の来場者でにぎわいました。会場では、振る舞われた流しそうめんを楽しむ来場者の姿が見られました。



いしかわ動物園の「ナイトズー」に仲間入りしたホワイトタイガーの「クラウン」。どこか優しい表情と全身からみながる神々しいまでのオーラで人々の心を魅了しました。



3月25日、北陸自動車道能美根上スマートインターチェンジ（SIC）の開通を記念して、ウォーキングイベントと施設見学会が開催され、供用開始を祝いました。



能美市観光大使の大月さゆさんが出演する能美市のプロモーションビデオ撮影の様子。動画は市ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



記録的な大雪が峠を越えた2月中旬。久しぶりに広がった青空の下、体験したことがないほどに積もった雪で子どもたちは元気いっぱい遊んでいました。



いしかわ動物園の冬の風物詩として親しまれているカピバラ湯。12月22日に「冬至のゆず湯」PRイベントが開催され、露天風呂に国造ゆずが浮かべられました。



手取川沿いから見た日の出。雪峰白山がふるさと能美をやさしく見守っていました。

平成30年



「世界とつながる特別な1日！」をテーマに「国際交流ひろば」を初めて開催し、多くの外国人と日本人が相互に交流する良い機会となりました。



みんなでつくる博物館プロジェクトとして、親子で楽しくハニワ作りに挑戦しました。



市公式キャラクター「ひぼ能ん・ゆず美ん」がゆるキャラ®グランプリに立候補し、初参戦にして、ご当地部門第32位を獲得しました。



みんなでつくる博物館プロジェクトとして、親子で野鳥の観察を楽しみました。場所は、蟹淵までの林道です。



九谷陶芸村を主会場に第110回九谷茶碗まつりが開催され、3日間合計約17万人の来場者でにぎわいました。

いしかわ動物園で干支の申にちなんだ展示が行われ、九谷焼技術研修所とコラボして開催された「九谷焼干支作品」の展示では、サルを題材にした本科2年生の力作が並びました。



平成28年

絵本でつなぐ親子の絆。赤ちゃんと保護者の絵本に触れるきっかけづくりとして、市が10か月児相談時に行っている「ブックスタート」の活動を紹介しました。



広報表紙と振り返る市の歩み



観音山で里山清掃ガイドハイクを行いました。参加者は新緑を感じながら、地域の山を清掃。頂上の東屋で景色を楽しみました。



第3回手づくりの達人市を開催。地元九谷焼をはじめ、木工品、ガラス細工、織物、アクセサリーなど105人の職人たちが出店しました。



人口減少の克服に向けた「能美創生総合戦略」を策定しました。暮らしやすさを日本一、実感できるまちを実現するための72の具体的施策を盛り込みました。



子育てを地域で支え合い、安心して子育てができる拠点、「ファミリー・サポート・センター」の活動について紹介しました。



平成28年は575人が成人を迎えました。式典には晴れ着をまとった新成人が集い、これまでの感謝を胸に、新たな一歩を踏み出しました。



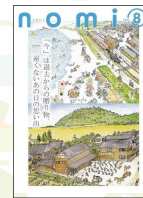
10月5日、市の住民基本台帳人口が5万人を超えました。記念すべき5万人目の市民となったのは、下清水町の大黒和也さんの長女恵那ちゃんでした。



伊勢丹新宿本店で受注販売された、九谷焼で作られたゴジラのフィギュア。20名の作家が絵付けを行いました。写真は福島武山さんの作品。



小堀勇氣さん（緑が丘出身）が2016リオデジャネイロオリンピック男子4×200メートルリレーで、1964年の東京オリンピック以来52年ぶりの銅メダルを獲得しました。



表紙の絵は、九谷陶芸村の紙袋をデザインした久保田辰五郎さんの作品です。水彩画の温かみとユーモラスなセンスに溢れていました。



市民の防災教育を図る設備と、災害発生時に重要な拠点となる機能を備えた能美市防災センターが完成。竣工式では救助訓練を行いました。



能美市二代目市長として、新たなリーダー井出敏朗市長が誕生しました。さらに暮らしやすさを実感できるまちを目指し、光り輝く能美市の未来へ歩み始めました。



3月といえばひな祭り。市内の保育園ではひな人形が飾られ、宮竹保育園の子どもたちもひな祭りの行事を楽しんでいました。



京田陽太さん（寺井町出身）が、プロ野球の中日ドラゴンズに入団決定。辰口福祉会館で行われた激励会では、関係者約120人が京田さんを激励しました。



11月19日、いしかわ動物園のトキ里山館がオープンしました。館内では、開放的な空間の中を飛翔するトキの姿がありました。



高齢化や後継者不足など、農業をとりまく問題。地域の農地と農業を守り、次代に伝えていくために、加賀丸いもの収穫体験を子どもたちが行いました。



能美市内でメロンやトマト、葉菜類などを生産する吉川農園から「がんばれ」の文字入りメロンが寄贈され、能美市立病院に展示されました。



松井秀喜さんと能美市出身の現役スポーツ選手から、コロナ禍で過ごす市民を勇気付ける心強いメッセージが届きました。



新型コロナウイルス感染症拡大の中でマスクが不足したことから、能美市独自の「マスク購入引換券」を発行し、市内3会場で販売を行いました。



新型コロナウイルスの感染拡大により、全国で緊急事態宣言が発出されました。井出市長から市民の皆さまへメッセージが送られました。



市内を走る「のみバス」は「わかりやすい」「便利につながる」「朝夕の速達性」の3つをコンセプトに新ルート・ダイヤで運行を開始しました。



令和3年

第5回九谷めり絵コンテストで見事グランプリに輝いた沼田美優さん（下ノ江町）の作品。これまで最多の2,506点の応募がありました。



東京2020オリンピックの聖火が能美ふるさとミュージアムで展示され、井出市長と聖火ランナーに選ばれた市民によるトークショーを行いました。



新型コロナウイルスの終息を願い、医療従事者などへの敬意と感謝を込め、また能美市誕生15周年を記念して、市内3会場で打ち上げ花火を行いました。



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市内の施設・店舗を応援し、市民の家計に役立てていただく「のみ応援特典券（第2弾）」を配布しました。



新型コロナウイルス感染症対策として、手をきれいに洗う子どもたち。小学校や児童館でもマスクの着用を励行するなど、新しい生活様式へと変化していきました。



九谷焼作家の福島武山さん、武腰潤さん、山田義明さんの3名が、九谷焼ウルトラマンシリーズの新作3体に絵付けを施し、能美ふるさとミュージアムでお披露目されました。



朝日が差し込み、カラフルな水玉模様が彩られた能美根上駅東口階段。九谷五彩をイメージした駅舎にリニューアルしました。



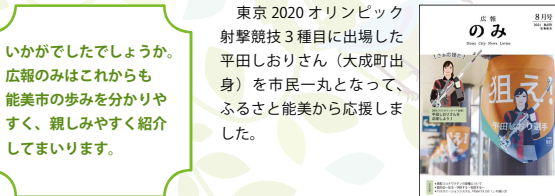
浜小学校交差点に新たな信号機が設置されたことに伴い、浜小学校1年生8人や地元関係者による点灯セレモニーを行いました。



新型コロナウイルスの影響により学校行事などが中止になった市内小中学校卒業生に、自身の顔写真入り特製九谷焼マグカップが贈られました。



市公式キャラクター「ひぼ能ん・ゆず美ん・ぼぼ能ん」がまくらで、ひと休み。令和3年は、2月2日が節分でした。



いかがでしたでしょうか。広報のみはこれからも能美市の歩みを分かりやすく、親しみやすく紹介してまいります。

東京2020オリンピック射撃競技3種目に出場した平田しおりさん（大成町出身）を市民一丸となって、ふるさと能美から応援しました。



新型コロナウイルス感染拡大が続く中、市民の家計支援および市内施設・店舗を応援する「のみ応援特典券（第3弾）」を配布しました。取扱店数も増えました。



能美市のキャッチコピーが「したいこと、能美市だったら叶うかも」に決定しました。それに併せ、市公式キャラクター「ひぼ能ん・ゆず美ん」を組み合わせたロゴマークも誕生しました。



能美市内には紅葉の綺麗なスポットが多くあります。秋を感じる物見山の公園で落ち葉遊びを楽しんでいた親子の笑顔がとても印象的です。



広報表紙と振り返る市の歩み



桜の名所、物見山公園で春を楽しむ家族。木漏れ日に浮かぶ姿もほんのり桜色です。



国造ゆず産地を後世に継承するため、和気小学校5年生が国造ゆず生産者や関係者と力を合わせ、苗木6本を植樹しました。



まなびフェスタ2019「超入門！！囲碁講座」では、4月にプロ棋士として入段が内定した寺田柊汰さんから囲碁のルールや打ち方を教わりました。



平成31年能美市成人式が根上総合文化会館で行われ、晴れ着姿で新たな門出を迎えた新成人が祝福されました。



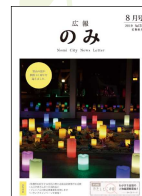
辰口中央小学校で「手紙の書き方体験授業」が行われ、一人暮らしの高齢者に宛て、4年生が気持ちを込めて年賀状を作成しました。



みんなで作る博物館プロジェクトとして、子どもたちが昔ながらの道具を使って、稲刈りを楽しみました。



第67回石川県消防操法大会で、能美市消防団根上分団が能美市として史上初の快挙となる優勝を成し遂げました。



能美市温泉交流館「里山の湯」が開館10周年を迎えました。九谷五彩をイメージしたキャンドルやスタッフが折った折り紙の作品が飾られました。



外国人にやさしいまちづくりや外国人と日本人が相互理解を図り、活発な交流活動を行う能美市国際交流協会が発足しました。



新緑に包まれた七ツ滝。市の名勝に指定されており、未来に残したい能美市の風景の一つです。



能美根上駅で撮影されたフォトコレクション応募作品。能美根上駅誕生5周年記念イベントを開催しました。



能美市誕生15周年記念企画として、市公式キャラクターの「ぼぼ能ん」の名前を考える人気投票を行いました。



第14回アジア射撃選手権大会で銅メダルを獲得した平田しおりさん（大成町出身）が能美市表彰スポーツ特別賞を受賞されました。



能美市合併10周年記念曲「Song Of Nomi」に歌詞が付けられ、市ゆかりのミュージシャンによって市民に披露されました。



カタル・ドーハで行われた世界陸上競技選手権大会男子50キロ競歩で鈴木雄介さん（松が岡出身）が日本競歩史上初となる金メダルに輝きました。